

# 令和5年度 杉戸町立東中学校 学校経営方針

校長 吉川 彦

## 1 学校教育目標

### 『自学 友愛 鍛錬』

- ・自ら意欲的に学ぶ生徒
- ・思いやりのある生徒
- ・心身を鍛えやり抜く生徒

『自学』は、学力向上の基本である。学習意欲を引き出し、学び方やコミュニケーション能力の大切さを教え、一人一人の知性を磨くことで、将来を自らの力で生き抜いていくための確かな学力を身につけさせたい。

『友愛』は、豊かな心を育むための基本である。一緒に生活する仲間や家族に感謝の気持ちをもって、優しい気持ちで過ごすことの大切さを教えることで、あたたかな思いやりの心と寛容性を大切に育てたい。

『鍛錬』は、可能性を伸ばすための基本である。定めた目標の達成に向け、揺るぎなく立ち向かっていく強固な心と、その源となる健康な体を育むことで、チャレンジし終えた後の、達成感・充実感・成就感を味わわせたい。

## 2 学校経営の理念

グローバル化、人工知能の進化など、社会が加速度的に変化し、将来の予測が難しい社会情勢の中、学校は子供たちが自らの夢の実現のために、力強く生き抜いていくための「生きる力」を育まなければならない。まさしく学校の使命はそこにある。

その使命を果たすためにも、

- (1) 子供たち一人一人のかけがえのない個性を大切にし、いつでも「わかりたい、伸びたい」と願っている子供たちの思いを全身で受け止める。
- (2) 生徒一人一人に寄り添い、生徒を「認め・褒め・励ます」指導を実践し、自分のよさや可能性を認識し、夢や希望の実現に粘り強く取り組む生徒の育成に邁進する。
- (3) 誰もが尊重され、多様性を認め合い、心身共に健康で幸福に生きるウェルビーイングな学校づくりを推進する。

以上の教育を着実に進めることで、10年後、20年後という未来において、自らの生きがいのため、家族のため、社会に貢献しながらたくましく生き抜くための「生きる力」を育む「学び舎」の実現を目指す。

## 3 学校経営の方針

- (1) 「主体的・対話的で深い学び」の充実に向けた授業を実践し、自ら学ぶ意欲を喚起することで、生徒一人一人の学力を伸ばす。
- (2) 生徒の個性や持ち味を大切に、「信頼」を基盤とする心に寄り添った学級経営を行うことで、生徒に「居がい・いきがい・やりがい」を味わわせる。

- (3) お互いに気持ちよく生活するためのルールやマナーを教えることで、生きていく上で必要な「社会性」を身に付けさせる。
- (4) 心の教育を柱とする「特別の教科 道徳」と体験学習を軸にした特別活動の計画的な実践により、生徒一人一人の「豊かな人間性」を育む。
- (5) 生徒一人一人に将来の「夢や希望」を抱かせ、その実現に向け、一步一步着実に進んでいこうとする意欲を喚起する、魅力ある教育活動を展開する。
- (6) 生徒全員が、心身共にたくましく、「安心・安全」に生活できる学校にするため、教職員一丸となり、四方八方への「目配り・気配り・心配り」を怠らない。
- (7) 積極的かつ丁寧な情報発信を心がけ、保護者・地域にも寄り添うことで、確かな信頼関係の上に立った子供たちへの教育を実践する。
- (8) 全ての教職員の経営参画による、「熱意・誠意・創意」による教育を目指すため、「報告・連絡・相談＋確認＋記録＋共有」を確実にを行い組織的な協働を徹底する。

#### 4 目指す指標

##### 《目指す学校像》

「夢に向かってたくましく生き抜く子供を育てる学校」

- (1) 子供たちにとって、学ぶこと、仲間といることが楽しい学校
- (2) 家庭・地域にとって安心して子供たちの教育を託すことができる学校
- (3) 教師にとって、学びあい、高め合える学校

##### 《目指す教職員（教師）像》

- (1) プロの教職員としての使命感・倫理感を持ち、職務に専念する教職員
- (2) 厳しさと優しさを兼ね備えた教師
- (3) 授業で勝負できる教師
- (4) 協働できる教職員

##### 《目指す生徒像》

「郷土を愛し、夢に向かって粘り強く努力する生徒」

- (1) 自ら学び、未来を切り拓く確かな学力を身に付ける生徒
- (2) 自他の命を大切にし、豊かな人間関係を築ける生徒
- (3) 自ら心身を鍛え、最後まで粘り強くやり抜く生徒

#### 5 令和5年度 指導の重点（2年次）

- (1) 「主体的・対話的で深い学び」を軸に、学び方を丁寧に教えることで、自ら学ぶ意欲を喚起し、「生き抜く」ための基礎となる確かな学力を身に付けさせる指導
- (2) 「特別の教科 道徳」を要とした心の教育と体験学習を軸にした特別活動の実践により、自ら考える意識を醸成し、「生き抜く」ための基礎となる豊かな心を育てる指導
- (3) 自他の命を大切にし、健やかに生活するための健康教育の実践と体力向上の確かな取組により、「生き抜く」ための基礎となる心身の「体（耐）力」を鍛える指導

## 6 教育目標達成に向けての努力事項

### (1) 学力向上を目指した教科経営と学習指導の充実

- ① 「主体的・対話的で深い学び」を追求する授業実践
- ② 基礎学力の定着と自ら学習に取り組む生徒の育成
- ③ 各種学力調査結果の検証に基づく学力向上のための具体的な取組みの実践
- ④ ICTの効果的活用と「タブレット活用スキル（情報活用能力）」の向上

### (2) 生き抜く力を育む学年・学級経営の充実

- ① 3年間を見通した学年経営・学級経営の展開  
( 1年:「他律」 2年:「自律」 3年:「自立」 )
- ② 生徒一人一人が所属感を実感できる学年・学級集団の育成
- ③ リーダーの育成及び自治的活動の充実

### (3) 豊かな心を育む道德教育・特別活動の充実

- ① 年間指導計画に基づく道德・特別活動の授業の実践
- ② 「特別の教科 道德」を要とする道德教育の推進及び豊かな心の育成
- ③ 生徒会活動等の諸活動を通じた自主的・創造的な実践力の育成
- ④ 学校行事や体験活動の充実を通じた成就感と連帯感の醸成

### (4) 学校の教育力を高める校内研修の充実

- ① 学校の課題克服のための研修の充実
- ② 杉戸町授業スタンダード、学力向上プロジェクトに基づく授業改革の推進
- ③ わかる授業の展開を目指す指導過程・指導技術の共有と授業評価の充実
- ④ 積極的な研究授業と相互授業参観の励行による指導力等の向上

### (5) 確かな規範意識を育てる生徒指導の充実

- ① 深い生徒理解と信頼関係を土台とした積極的な生徒指導の展開
- ② 生徒会活動や学級活動等を中心に、自治能力と自己決定力の育成
- ③ 集団の場面での必要な指導や援助を行うガイダンス機能の充実
- ④ 学校行事やボランティア活動などの体験活動による豊かな心の育成

### (6) 自立を促す進路指導・キャリア教育の充実

- ① 自己理解を深めさせ、将来の夢や希望を抱かせる指導の実施
- ② 上級学校への積極的な情報収集と具体的な進路設計への支援
- ③ 適切な勤労観・職業観の育成
- ④ 進路だより『大志』の発行と活用

### (7) 小中一貫教育に視点を置いた学校間連携の推進

- ① 9年間を見通した「基幹学力」育成のための連携の推進

- ② 生徒指導・教育相談に関する小中合同研修会の充実
- ③ 小中連携によるPTA活動の充実

(8) 開かれた学校づくりを理念とした家庭・地域との連携

- ① よき校風と伝統を生かした絆づくりと地域貢献の工夫
- ② 学校運営協議会を活用した子供たちの健全育成及び教育活動の推進
- ③ PTA、地域と連携・協働した学校行事やボランティア活動の充実

(9) 潤いのある学校環境の整備と美化の推進

- ① 校内掲示の充実と緑化活動の推進による潤いのある学校づくり
- ② 清掃活動の徹底を図り、生活の場をきれいにする心の育成
- ③ ユニバーサルデザインを意識した教室環境づくり

(10) 保健・安全・食育指導の充実

- ① 発達段階に応じた保健教育や保健管理の充実
- ② 交通安全、自転車のルール・マナー指導の徹底
- ③ 給食指導の充実と計画的な食育指導による健康の保持・増進

(11) 相互理解を育む人権教育の推進

- ① 自他共に認め合い、人権を尊重できる生徒の育成
- ② いじめの根絶「いじめをしない、させない、見逃さない、許さない」生徒の育成
- ③ 人権問題を正しく理解させ、差別をなくすことのできる生徒の育成

(12) 異文化理解を通して日本文化の理解を深める国際理解教育の推進

- ① 言語活動の充実と連動するコミュニケーション能力の育成
- ② 在日外国人生徒への指導・支援体制の充実
- ③ S L C A発信による異文化理解の推進

(13) 一人一人の自立を育む特別支援教育の推進

- ① 交流教育の積極的推進
- ② 障がいに応じた教育課程の編成、きめ細かな指導の充実
- ③ 発達障害への理解と対応に関する研修の充実

(14) 課題解決能力を開発する総合的な学習の時間の充実

- ① 主体的な学習態度を通して、適切な課題を見出す力の育成
- ② 情報や資料を収集・活用し、考察を発表できる力の育成
- ③ 3年間を見通したプレゼンテーション能力の育成
- ④ 探求的な学習に主体的・協働的に取り組む能力の育成

(15) 生きる力の原動力となる体力向上

- ① 保健体育の授業を核とする諸活動に主体的に取り組む実践力の育成
- ② 体力向上、生徒の興味関心を育む授業実践
- ③ 保健体育の授業及び運動部活動における運動量の確保

(16) 共生社会を生きる福祉・ボランティア教育の充実

- ① 意図的・計画的な学校行事、体験学習を通じた成就感や連帯感の醸成
- ② 学校や地域に貢献できるボランティア活動等、社会参画意識の向上
- ③ パンク修理隊の技術の継承

(17) 生徒が主体的に活動する部活動の充実

- ① 所属感・連帯感・達成感の育成
- ② 人間形成の一翼を担う場としての部活動の推進
- ③ 部活動方針に則した、技能向上と鍛錬を目指した部活動の運営

(18) 生徒一人一人の状況に寄り添った教育相談の充実

- ① 一人一人が抱える課題に対応した指導を行うカウンセリング機能の充実
- ② 不登校の解消と社会的自立に向けた支援体制の構築
- ③ 相談員、SC、SSW、行政関係機関との連携強化